

「阿久根市過疎地域持続的発展計画（素案）」に関するパブリックコメントによる御意見と阿久根市の考え方

○提出人数 3人

○提出のあった御意見の数 4件

番号	御意見の内容（原文のまま）	市の考え方（回答及び対応）
1	最近では漁師の他に、空いた時間を農家の手伝いをして、時間と少しばかりのお金をいただいています。 私が今回、投稿した理由は、最近の一次産業の人材不足を懸念しているのが一つの大きな理由です。 私のように、隙間時間を使って少しでも一次産業の方たちの手伝いが、もっと簡単にできるような、コミュニティサイトがあれば経営者の方々にも、とても良い解決策になると思っています。 是非、一次産業の経営者の方々と、少なからず手伝っても良いよ！と、言ってくれる方々の橋渡しのサイトを作ってください。 今回、このような意見を聞いていただく機会を設けてくださり、本当に有り難う御座います。	御提案いただいた、第一次産業の担い手となる人材の不足を解消するためのコミュニティサイト創設に関し、まずは、市内で事業を営む経営者の方々や、空いた時間を副業等に活用することを希望する方々のニーズの把握に努めてまいります。 また、現在、農業分野では労働力不足（特に収穫期）が深刻な課題であり、福祉分野との連携による農福連携、外国人労働者による労働力確保の取組を関係機関・団体との連携により進めております。 御意見でいただいた漁業者による農作物の収穫等につきましては、本市の特性を生かした大変有効な労働力確保の手段と考えており、今後、より簡便な方法で組み合わせができるよう、仕組みづくりを進めてまいります。
2	出産祝い商品券1人10万円は経済的支援にはなるが、そこが安心して子どもを産み育てる環境づくりになるのかわからない。 一時的な支援にはなるが、継続的支援として、どのような環境を望んでいるのか、子育て世代の意見が組み込まれていないのではと感じる。 未満時クラスは保育料がかかるので、産前産後の大変な時期でも上の子どもを園に預けられず、心身共に疲労している親は多い。	安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、できることから取り組んでいるところです。 出産に関しての費用助成として出産一時金を含め、本市として出生を祝福しその健やかな成長を願い、一時的な経済支援を行っております。他の経済的支援として、児童手当の支給や子ども医療費の助成年齢を18歳まで拡大し医療費に係る負担の軽減に努めております。 未満児クラスの保育料につきましても国の保育料基準より低廉な設定を行い、経済的な支援を行っているところです。 子育て相談につきましては包括的な支援を行い、保健師、家庭相談員等で対応を行っております。今後も子育て支援の推進に努めてまいりたいと考えております。

3	事業計画について事業主体が全て「市」ですが官民連携でやった方が上手くいくケースもあると思います。例えば「空き家バンク」から「空き家改修補助」と上手くつながる成功事例を1つ作るとか、「テレワーク環境整備」でいくつかの民間のお店や公共施設と連携して「テレワークマップ」を作るとか。各事業についてやわらかくフットワーク軽く実績を作って頂けると有難いです。 人材育成の「地域リーダー同士のネットワーク形成」とはどういう想定をされてますか？例えば阿久根だけでなく出水、長島の地域で頑張ってる方々とのネットワーク？もっと広く顥娃や鹿屋のリーダーとの連携？具体的に教えて頂けると有難いです。	各種事業の実施において、市内の各種団体、NPO等と積極的に連携を図っていくことの提案と承ります。 市内の各種団体、NPO等との連携・協力はもちろんですが、市外からの関係人口の創出等により、様々な資源、人材を活用し、各種事業の推進に努めてまいりたいと考えております。 なお、掲載した事業のうち、「官民連携」で実施する事業であっても、主たる事業主体が「市」である場合、「市」と統一して記載しております。 「地域リーダー同士のネットワーク形成」の記述につきましては、市としましては、まずは市内において魅力的な個性ある地域づくり及び地域活動に積極的に取り組む方々同士をおつなぎし、連携・協力が図れるようネットワークを形成することで、地域活性化の相乗効果を積み上げてまいりたいと考えております。その上で、御指摘をいただいた市外で活動される方々とのつながり、連携・協力を図っていければと考えております。
---	--	---

※ 個人を特定するおそれのある記述については、記載しておりません。